



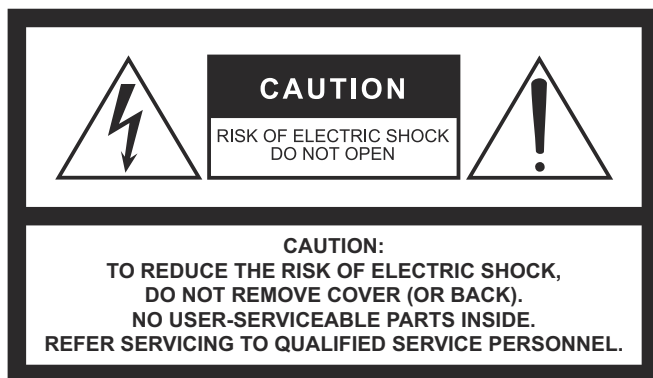
DIGITAL MIXING SYSTEM

RIVAGE
PM3

CONTROL SURFACE

CS-R3

取扱説明書



The above warning is located on the rear of the unit.



L'avertissement ci-dessus est situé sur l'arrière de l'unité.

Explanation of Graphical Symbols Explication des symboles



The lightning flash with arrowhead symbol within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.

L'éclair avec une flèche à l'intérieur d'un triangle équilatéral est destiné à attirer l'attention de l'utilisateur sur la présence d'une « tension dangereuse » non isolée à l'intérieur de l'appareil, pouvant être suffisamment élevée pour constituer un risque d'électrocution.



The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the product.

Le point d'exclamation à l'intérieur d'un triangle équilatéral est destiné à attirer l'attention de l'utilisateur sur la présence d'instructions importantes sur l'emploi ou la maintenance (réparation) de l'appareil dans la documentation fournie.

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

- 1 Read these instructions.
- 2 Keep these instructions.
- 3 Heed all warnings.
- 4 Follow all instructions.
- 5 Do not use this apparatus near water.
- 6 Clean only with dry cloth.
- 7 Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.
- 8 Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.
- 9 Do not defeat the safety purpose of the polarized or grounding-type plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. If the provided plug does not fit into your outlet, consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.
- 10 Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
- 11 Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
- 12 Use only with the cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer, or sold with the apparatus. When a cart is used, use caution when moving the cart/apparatus combination to avoid injury from tip-over.
- 13 Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
- 14 Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.



WARNING

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK, DO NOT EXPOSE THIS APPARATUS TO RAIN OR MOISTURE.

(UL60065_03)

PRÉCAUTIONS CONCERNANT LA SÉCURITÉ

- 1 Lire ces instructions.
- 2 Conserver ces instructions.
- 3 Tenir compte de tous les avertissements.
- 4 Suivre toutes les instructions.
- 5 Ne pas utiliser ce produit à proximité d'eau.
- 6 Nettoyer uniquement avec un chiffon propre et sec.
- 7 Ne pas bloquer les orifices de ventilation. Installer l'appareil conformément aux instructions du fabricant.
- 8 Ne pas installer l'appareil à proximité d'une source de chaleur comme un radiateur, une bouche de chaleur, un poêle ou tout autre appareil (y compris un amplificateur) produisant de la chaleur.
- 9 Ne pas modifier le système de sécurité de la fiche polarisée ou de la fiche de terre. Une fiche polarisée dispose de deux broches dont une est plus large que l'autre. Une fiche de terre dispose de deux broches et d'une troisième pour le raccordement à la terre. Cette broche plus large ou cette troisième broche est destinée à assurer la sécurité de l'utilisateur. Si la fiche équipant l'appareil n'est pas compatible avec les prises de courant disponibles, faire remplacer les prises par un électricien.
- 10 Acheminer les cordons d'alimentation de sorte qu'ils ne soient pas piétinés ni coincés, en faisant tout spécialement attention aux fiches, prises de courant et au point de sortie de l'appareil.
- 11 Utiliser exclusivement les fixations et accessoires spécifiés par le fabricant.
- 12 Utiliser exclusivement le chariot, le stand, le trépied, le support ou la table recommandés par le fabricant ou vendus avec cet appareil. Si l'appareil est posé sur un chariot, déplacer le chariot avec précaution pour éviter tout risque de chute et de blessure.
- 13 Débrancher l'appareil en cas d'orage ou lorsqu'il doit rester hors service pendant une période prolongée.
- 14 Confier toute réparation à un personnel qualifié. Faire réparer l'appareil s'il a subi tout dommage, par exemple si la fiche ou le cordon d'alimentation est endommagé, si du liquide a coulé ou des objets sont tombés à l'intérieur de l'appareil, si l'appareil a été exposé à la pluie ou à de l'humidité, si l'appareil ne fonctionne pas normalement ou est tombé.



AVERTISSEMENT

POUR RÉDUIRE LES RISQUES D'INCENDIE OU DE DÉCHARGE ÉLECTRIQUE, N'EXPOSEZ PAS CET APPAREIL À LA PLUIE OU À L'HUMIDITÉ.

(UL60065_03)

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

本製品は、ホールやイベントで使用するコントロールサーフェスです。用途以外の目的では使用しないでください。

取り扱いに不慣れな方など本書に従って取り扱いできない方が使用する場合は、必ず安全面で責任を持てる方が補助してください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

お読みになったあとは、本製品を使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」「注記」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度により区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

注記

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。

記号表示について

本製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起	一般注意	感電注意
禁止	禁止	分解禁止
	水ぬれ禁止	ぬれ手禁止
必ず実行	必ず実行	必ず接地接続
		電源プラグを抜く



警告

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグが破損した場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に水や異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

電源 / 電源コード



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ・ストーブなどの熱器具に近づけない
- ・無理に曲げない
- ・傷つけない
- ・電源コードに重いものをのせない

感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は本製品に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。

故障、発熱、火災などの原因になります。

付属の電源コードは日本国内専用(125Vまで)です。



禁止

付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグのほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

必要に応じて、定期的にはこりを拭き取ってください。



必ず実行

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

火災やショートのおそれがあります。



必ず実行

本製品をコンセントの近くに設置する。

本製品は複数の電源を受給します。電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源を切った状態でもすべての電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。電源プラグに容易に手が届き、操作できるように設置してご使用ください。



必ず実行

- ・長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
- ・雷が鳴りだしたときは、本製品や電源プラグに触らない。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

接続



必ず実行

電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。

確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。

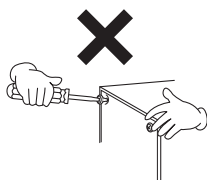
分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。



水や火に注意



禁止

- ・本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- ・浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。

聴覚障害



必ず実行

電源を入れたり切ったりする前に、必ず本製品や接続している機器の音量(ボリューム)を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。



必ず実行

オーディオシステムの電源を入れるときは、パワーアンプをいつも最後に入れる。電源を切るときは、パワーアンプを最初に切る。

聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



注意

電源 / 電源コード



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置と接続



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。

本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

本製品を子供の手の届くところに置かない。

本製品は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



禁止

本製品の通風孔(放熱用スリット)をふさがない。

内部の温度上昇を防ぐため、本製品の前面下 / 背面には通風孔があります。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行なう。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

本製品を持ち運ぶ場合は、必ず2人以上で行なう。

本製品を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めたり、本製品が落下して破損したり、けがをしたりする原因になります。

お手入れ



必ず実行

本製品をお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になることがあります。

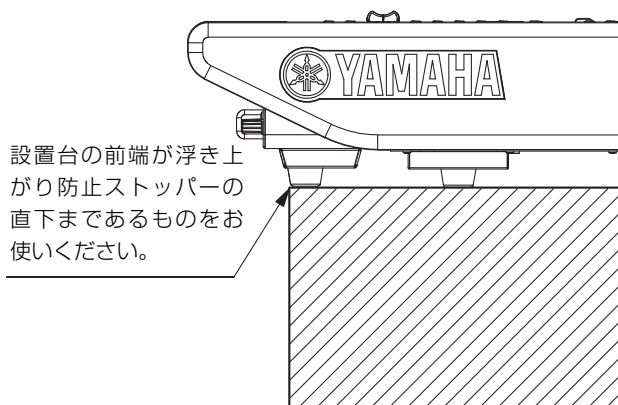
取り扱い



禁止

本製品の上にのったり重いものをのせたりしない。

本製品が破損したり、けがをしたりする原因になります。



設置台の前端が浮き上がり防止ストッパーの直下まであるものをお使いください。

バックアップバッテリー



禁止

バックアップバッテリーを自分で交換しない。

誤って交換すると爆発や故障の原因となることがあります。

バッテリーを交換する必要があるときは、ディスプレイに「Low Battery」または「No Battery」と表示されます。この場合、お買い上げの販売店またはヤマハ修理相談センターにバックアップバッテリーの交換をご依頼ください。

注記(使用上の注意)

製品の取り扱い / お手入れに関する注意

- 本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由し接続する。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定する。
電気通信事業者(移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆回線LANを含む)には直接接続しない。

- テレビやラジオなど、他の電気製品の近くで使用しない。
本製品、または他の電気製品に雑音が生じる原因になります。

- 極端に温度の高いところや低いところ、ほこりや振動の多いところで使用しない。
本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。

- 温度変化が激しい場所に設置しない。
製品内部や表面に結露が発生し、故障する原因になります。

- 結露が発生しているおそれがあるときは、しばらく放置してから電源を入れる。
結露した状態で電源が入ると、故障の原因になります。

- 本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。
パネルの変色/変質の原因になります。

- お手入れのときは、ベンジン、シンナー、洗剤、化学ぞうきんなどで製品の表面を拭かない。
変色/変質する原因になります。

- フェーダーに、オイル、グリスや接点復活剤などを補給しない。
電気接点の接触やフェーダーの動きが悪くなる場合があります。

- バランス出力をアンバランス機器に接続する場合は、各機器間のグラウンド電位を合わせる。
グラウンド電位が合っていないと、故障の原因になります。
アンバランス(不平衡)機器接続ケーブルの配線はピン3: コールドとピン1: グラウンドを接続してお使いください。

データの保存に関する注意

- ディスプレイに「Low Battery」または「No Battery」が表示されたら、電源を切らずに、すぐにデータをコンピューターなどの外部機器に保存する。
保存せずに電源を切ると、データの損失の原因となります。

お知らせ

データの著作権に関するお知らせ

- 著作権法などで認められている場合を除いて、市販の音楽/サウンドデータを権利者に無断で複製または転用することは禁止されています。

製品の機能 / データに関するお知らせ

- 電源スイッチを切った状態(電源ランプが消えている)でも微電流が流れています。この状態での消費電力は、最小限の値で設計されています。本製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- XLRタイプコネクターのピン配列は、以下のとおりです(IEC60268規格に基づいています)。
1: グ라운드(GND)、2: ホット(+)、3: コールド(-)
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.

取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- ソフトウェアおよび取扱説明書を使用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

廃棄に関するお知らせ

- 本製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください。

データが破損したり失われた場合の補償や、不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

目次

安全上のご注意	3	困ったときは	29
はじめに	8	仕様	30
取扱説明書について	8	一般仕様	30
ユーティリティソフトウェアについて	9	音響特性	30
ファームウェアのアップデート	9	入出力仕様	31
表記について	9	ピンアサイン表	32
付属品	9	寸法図	33
各部の名称と機能	10	索引	34
トップパネル	10	保証とアフターサービス	35
フロントパネル	20	修理に関するお問い合わせ	36
リアパネル	21		
電源の準備/ シャットダウン	23		
電源の接続	23		
SHUTDOWN (電源のオフ手順)	23		
オプションカードの 取り付け/取り外し	24		
Mini-YGDAIカードの取り付け	24		
Mini-YGDAIカードの取り外し	24		
タッチスクリーン	25		
タッチスクリーンの基本操作	25		
画面内のユーザーインターフェース	25		
タッチスクリーンの見方	26		
その他の操作	27		
本体を工場出荷時の状態に初期化する	27		
フェーダーを調整する (キャリブレーション機能)	27		

はじめに

このたびはヤマハコントロールサーフェスCS-R3をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。CS-R3は、ヤマハデジタルミキシングシステムRIVAGE PMシリーズ用のコントロールサーフェスです。この取扱説明書では、音響設備施工会社の担当者やミキシングエンジニア向けに基本機能と操作方法を説明しています。本製品の優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この説明書をご使用の前に必ずお読みください。また、お読みいただいたあとも、保証書とともに保管してください。

取扱説明書について

- **CS-R3取扱説明書(本書)**
CS-R3のパネル上の各部の名称と機能について説明しています。
- **RIVAGE PMシリーズオペレーションマニュアル**
RIVAGE PMシリーズについて、すべての画面と機能や操作方法、システムセットアップ方法を詳細に説明しています。
- **RIVAGE PM Editorインストールガイド**
RIVAGE PM Editorのインストール手順について、説明しています。
- **RIVAGE PM StageMixユーザーガイド**
RIVAGE PMシリーズのシステムをワイヤレスコントロールするiPadアプリケーションについて説明しています。

PDFマニュアルの活用方法

RIVAGE PMシリーズオペレーションマニュアルとEditorインストールガイドは、PDFの電子ファイルになっています。このファイルは、コンピューターでご覧いただけます。コンピューターでご覧いただくソフトウェアとして「Acrobat Reader」を使うと、用語をすばやく検索したり、必要な部分だけを印刷したり、リンクをクリックして該当する項目を開いたりすることができます。特に用語検索とリンク機能は、電子ファイルならではの便利な機能です。ぜひご活用ください。

最新のAcrobat Readerは下記のウェブサイトからダウンロードできます。

<https://www.adobe.com/jp/>

各取扱説明書はヤマハウェブサイトからダウンロードできます。ヤマハウェブサイトには常に最新のマニュアルデータが掲載されていますので、必要に応じてご活用ください。

<https://download.yamaha.com/>

ユーティリティソフトウェアについて

RIVAGE PMシリーズには、各種ユーティリティソフトウェアが用意されています。

- **RIVAGE PM Editor**

コントロールサーフェスと同等の操作ができるアプリケーションソフトウェアです。コンピューター上でRIVAGE PMシリーズの設定をあらかじめ準備したり(オフラインエディット)、RIVAGE PMシリーズの設定を監視/操作(オンラインモニタリング/オペレーション)できます。

- **RIVAGE PM StageMix**

RIVAGE PMシリーズのシステムをワイヤレスコントロールするiPadアプリケーションです。ミキシングエンジニアはステージ上の演奏者のポジションなど、システムから離れたところで直接ミキシングパラメーターを操作できるようになります。

ソフトウェアについての情報は、ヤマハプロオーディオウェブサイトに掲載されています。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

EditorやStageMixのダウンロードの方法やインストール、詳しい設定などについては、上記ウェブサイトやダウンロードしたプログラムに付属のインストールガイドをご参照ください。

ファームウェアのアップデート

この製品は、操作性向上や機能の追加、不具合の修正のために、本体のファームウェアをアップデートできます。ファームウェアのアップデートに関する情報は、ヤマハプロオーディオウェブサイトに掲載されています。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

アップデートの手順や本体の設定については、ウェブサイトを用意されているファームウェアアップデートガイドをご参照ください。

表記について

本書では、パネル上にあるスイッチ類を「キー」と呼びます。また、パネル上のコントロールノブは、すべて「ノブ」と呼んでいます。ノブには、最小値から最大値まで回転するものと、エンドレスで回転するものがあります。

ディスプレイ上に表示される仮想のボタンは「ボタン」、ノブ類は「ノブ」と呼んでいます。

パネル上の操作子は、画面内に表示される仮想のボタンやノブ類と区別するために、名称を[]でくくって表記します(例:[CUE]キー)。操作子によっては、[]の前にセクション名などを表記する場合があります。

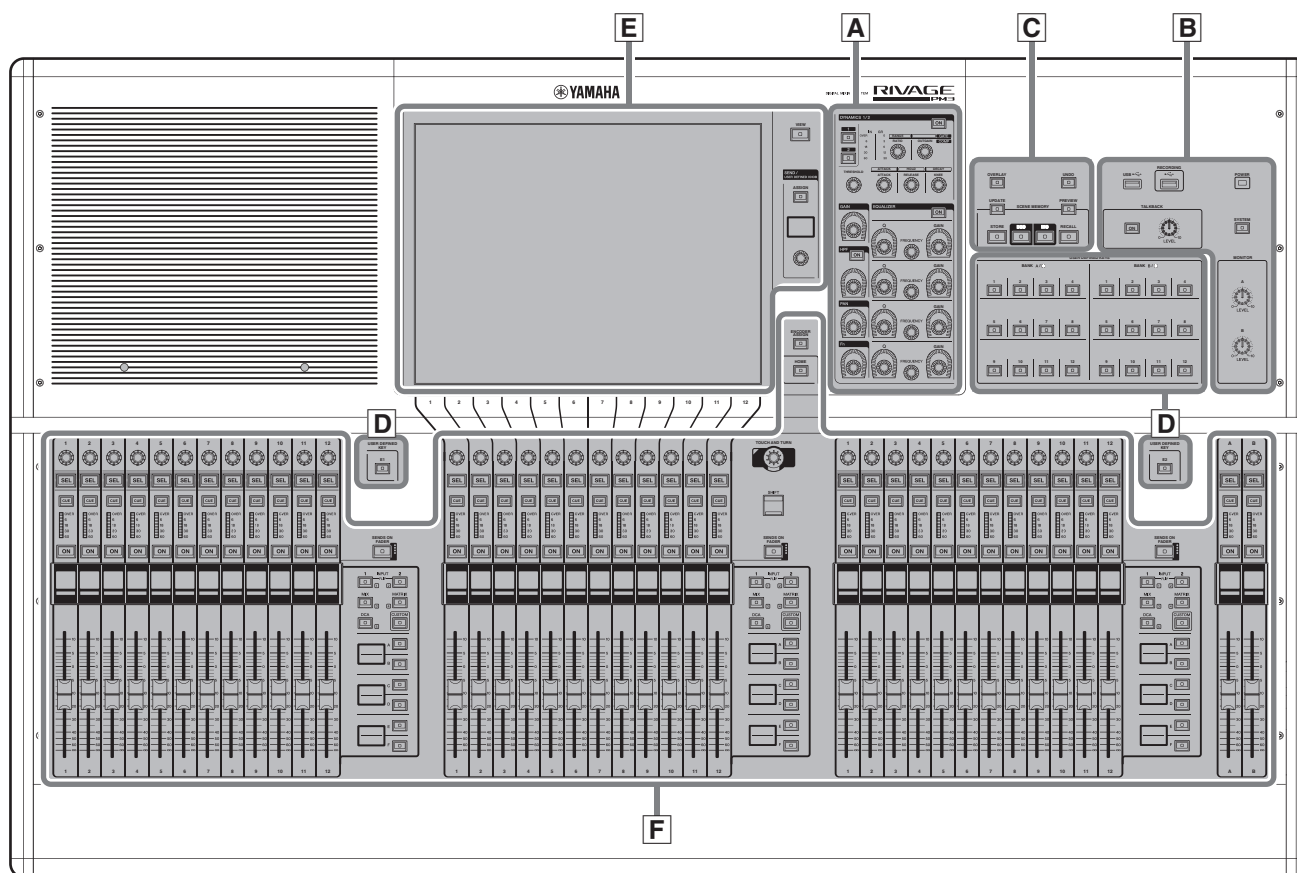
(例:SCENE MEMORY [STORE]キー)

付属品

- 電源コード 2本
- ダストカバー
- Nuendo Live (DAWソフトウェア)
- 取扱説明書(本書：保証書付き)

各部の名称と機能

トップパネル

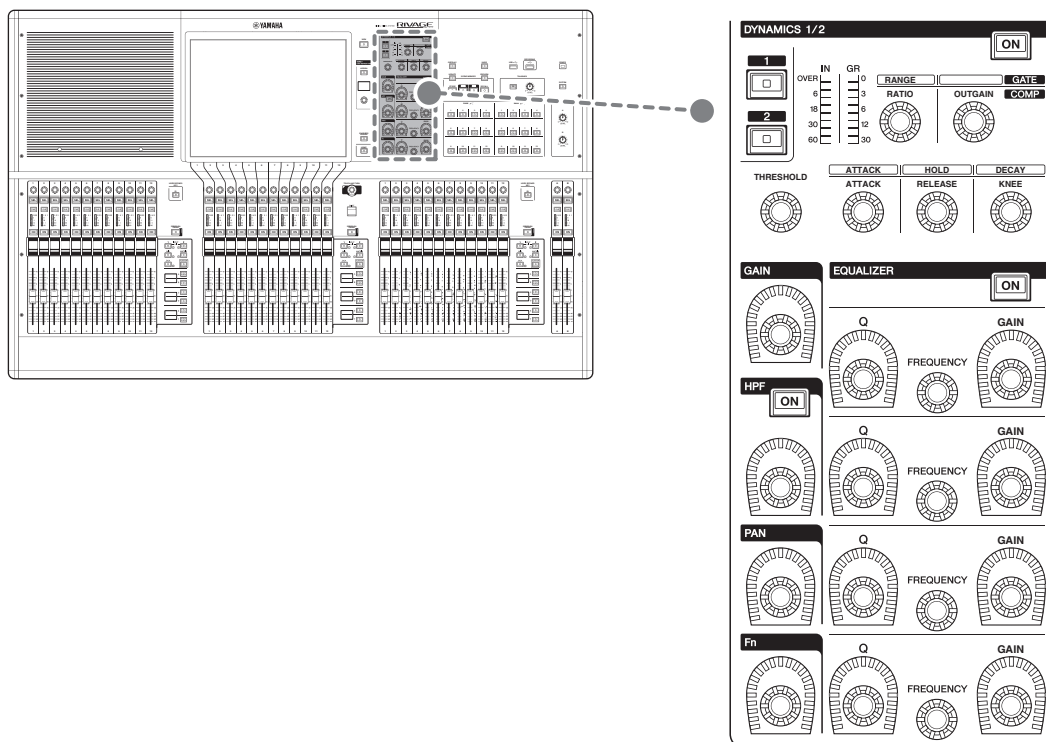


- A** Selected Channelセクション → 11ページ
- B** UTILITYセクション → 13ページ
- C** SCENE MEMORYセクション → 14ページ
- D** USER DEFINED KEYSセクション → 15ページ
- E** タッチスクリーンセクション → 16ページ
- F** チャンネルストリップセクション → 17ページ

A Selected Channelセクション

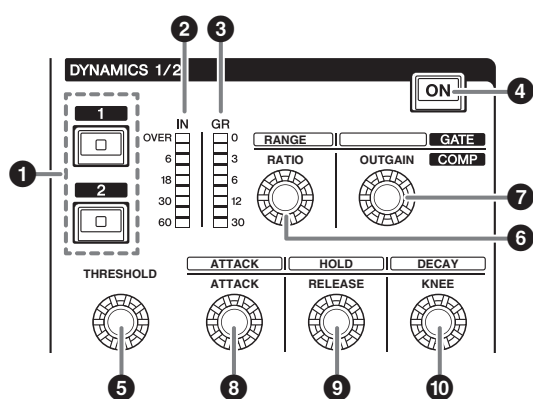
現在選ばれているチャンネルのパラメーターを操作するセクションです。

Selected Channelセクションのノブには、タッチセンス機能が搭載されています。



DYNAMICS 1/2

DYNAMICS 1/2を選択し、詳細設定をします。また、DYNAMICSの入力レベル、ゲインリダクションを確認できます。



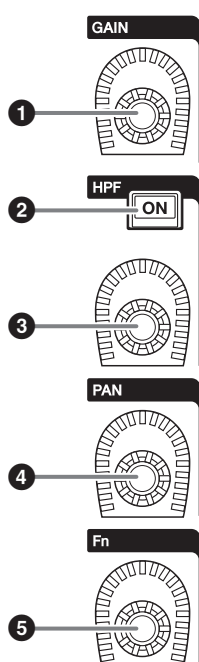
- ① **DYNAMICS [1]/[2]キー**
DYNAMICS 1または2を選択します。
- ② **DYNAMICS 1/2 IN LED**
選択されたDYNAMICSの入力レベルを表示します。
- ③ **DYNAMICS 1/2 GR LED**
選択されたDYNAMICSのゲインリダクションを表示します。
- ④ **DYNAMICS 1/2 [ON]キー**
DYNAMICSのオン/オフを切り替えます。

⑤～⑩ DYNAMICS 1/2設定ノブ

DYNAMICS 1または2の詳細設定をします。選択するダイナミクスのタイプによって、ノブの機能が変わります。ダイナミクスのタイプについての詳細は、RIVAGE PMシリーズオペレーションマニュアルをご参照ください。

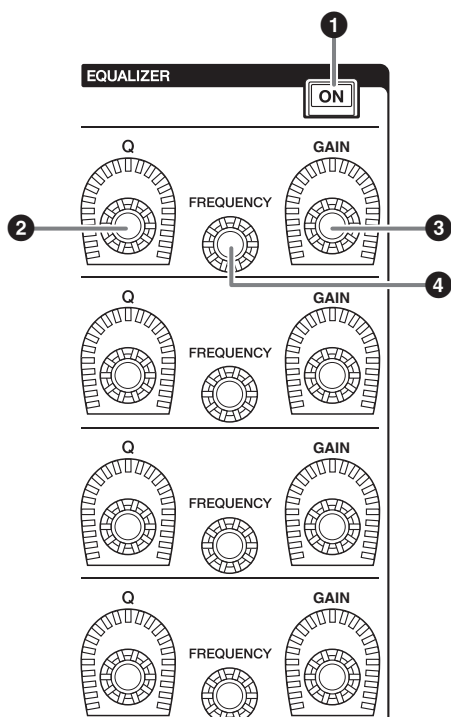
ダイナミクスのタイプ	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
GATE/DUCKING	THRESHOLD	RANGE	—	ATTACK	HOLD	DECAY
COMP/EXPANDER	THRESHOLD	RATIO	OUTGAIN	ATTACK	RELEASE	KNEE
DE-ESSER	THRESHOLD	FREQ	Q	—	—	TYPE

GAIN、HPF、PAN、Fn



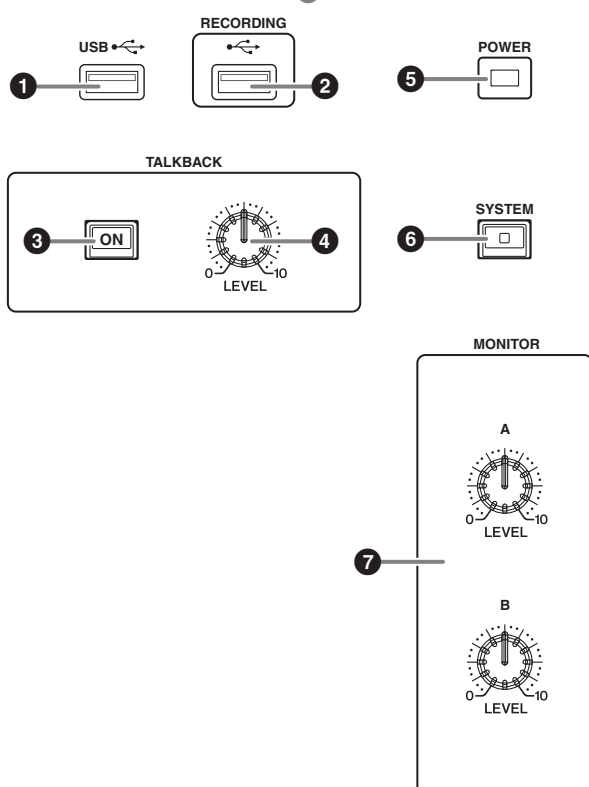
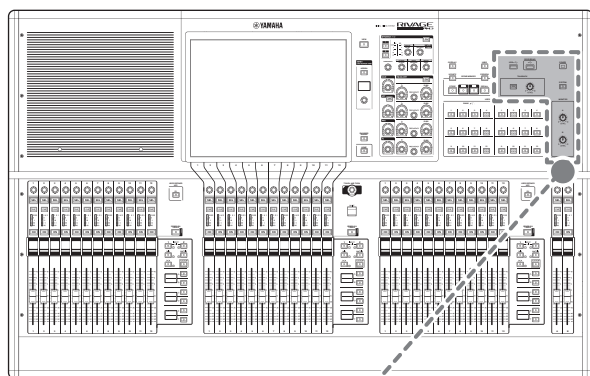
- ① **[GAIN]ノブ**
アナログゲインまたはデジタルゲインを操作します。
- ② **HPF [ON]キー**
HPFのオン/オフを切り替えます。
- ③ **[HPF]ノブ**
HPFのカットオフ周波数を調節します。
- ④ **[PAN]ノブ**
STEREOバスに送られる信号のパンを調節します。
- ⑤ **[Fn](ファンクション)ノブ**
設定したパラメーターを調節します。

EQUALIZER



- ① **EQUALIZER [ON]キー**
EQUALIZERのオン/オフを切り替えます。
- ② **EQUALIZER [Q]ノブ**
Qを調節します。
- ③ **EQUALIZER [GAIN]ノブ**
ゲインを調節します。
- ④ **EQUALIZER [FREQUENCY]ノブ**
周波数を調節します。

B UTILITYセクション



1 USB端子

USB機器(マウス、キーボード、USBメモリー)を接続できます。USBメモリーは内部データの保存と読み込みを行ないます。

■ USBメモリーのフォーマット

サポートしているフォーマット形式は、FAT16/FAT32です。

■ 誤消去防止

USBメモリーには、誤ってデータを消してしまわないようにするため、ライトプロテクトできるものがあります。

大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしてください。逆にセーブする場合などは、お使いの前にUSBメモリーのライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

使用可能なUSBメモリーの情報は、ヤマハプロオーディオウェブサイトをご参照ください。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

注記

セーブ/ロード/デリートなどデータのアクセス中は、USBメモリーを抜いたり、本体の電源を切ったりしないでください。記憶メディアが壊れたり、本体およびメディアのデータが壊れたりするおそれがあります。

2 RECORDING端子

USBメモリーを接続して、オーディオファイルの録音/再生ができます。対応しているファイルフォーマットはWAVとMP3です。

使用可能なUSBメモリーの情報は、ヤマハプロオーディオウェブサイトをご参照ください。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

3 TALKBACK [ON]キー

TALKBACK機能のオン/オフを切り替えます。

4 TALKBACK [LEVEL]ノブ

TALKBACK用の入力レベルを調節します。

5 POWERインジケーター

電源がオンのとき点灯します。電源スイッチAとB両方の電源がオンの場合、緑色で点灯します。電源スイッチAまたはBどちらか一方の電源がオンの場合、赤色で点灯します。コントロールサーフェスが起動中の場合と、シャットダウン後に電源スイッチがオンになっている場合は、橙色で点灯します。

6 [SYSTEM]キー

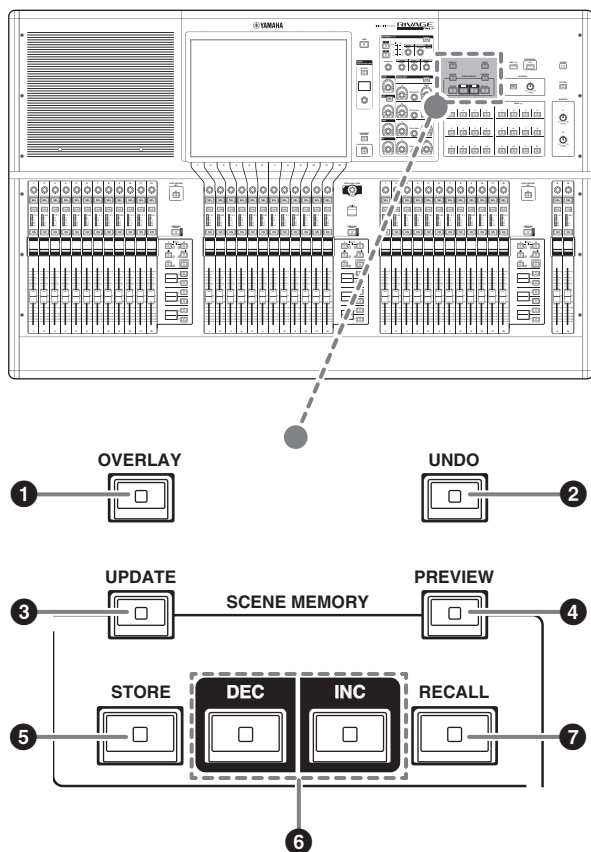
RIVAGE PMシリーズシステムの情報をタッチスクリーンに表示します。

2秒以上長押しするとシャットダウン(→ 23ページ)に入ります。電源スイッチをオフにする前に、必ず実行してください。

7 MONITOR A/B [LEVEL]ノブ

モニターの出力レベルを調節します。

C SCENE MEMORYセクション



- ① **[OVERLAY]キー**
OVERLAY SETTING画面を表示します。
[SHIFT]キー (→ 17ページ ④)と[OVERLAY]キーを同時に押すと、オーバーレイのオン/オフが切り替わります。
オーバーレイがオンのとき長押しすると、オーバーレイ編集モードに切り替わります。

- ② **[UNDO]キー**
ストア/リコール/アップデートの3つの内、最後に行なった操作を取り消します。
[UNDO]キーを押して操作を取り消したあと、再び[UNDO]キーを押すと、取り消した操作が復活します。

NOTE

新規にストアした場合は、[UNDO]キーを使って取り消すことはできません。

- ③ **[UPDATE]キー**
カレントシーン(最後にリコールされたシーン)に対し、現在のカレントミックスデータを上書きして更新します。

- ④ **[PREVIEW]キー**
PREVIEWモードのオン/オフを切り替えます。

- ⑤ **[STORE]キー**
現在の設定を新規にストアします。ストア先として既存のシーンを選んだ場合は、上書きします。

NOTE

カレントシーンに上書きする場合には、[UPDATE]キーを使用してください。

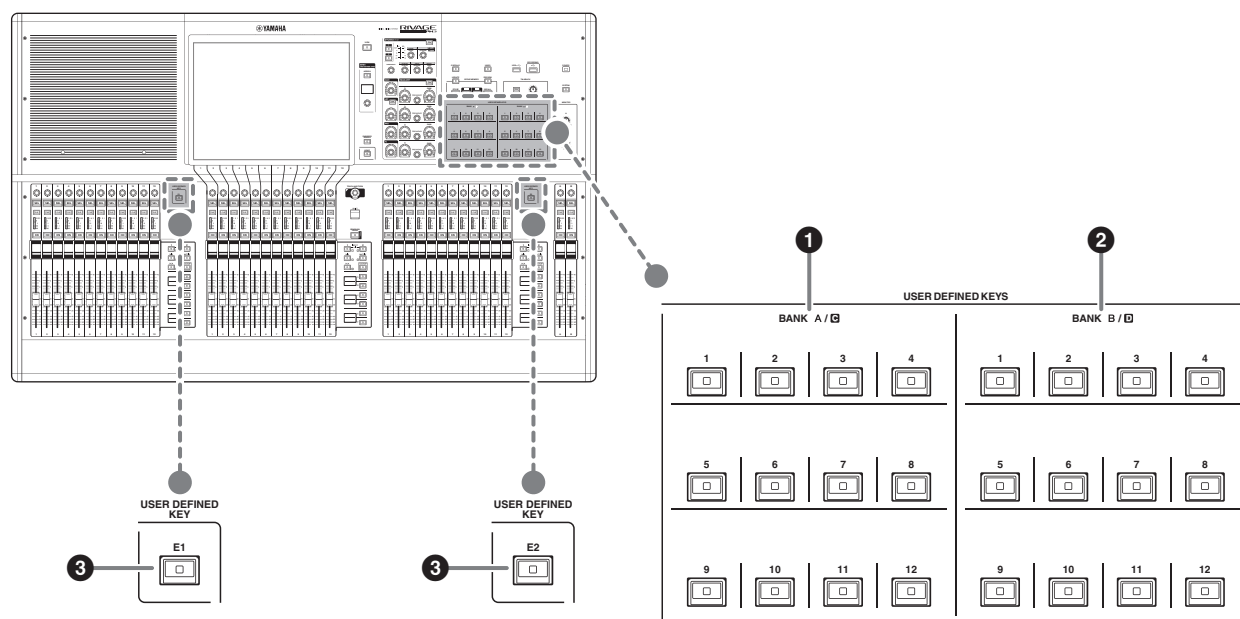
- ⑥ **[INC]/[DEC]キー**
ストア/リコールするシーン番号を選びます。

NOTE

- ・ カレントシーン以外を選択しているときは、LCDディスプレイのシーン番号が点滅します。
- ・ [INC]キーと[DEC]キーを同時に押すと、カレントシーンに戻ります。

- ⑦ **[RECALL]キー**
シーンメモリーから選択されたシーンをリコールします。

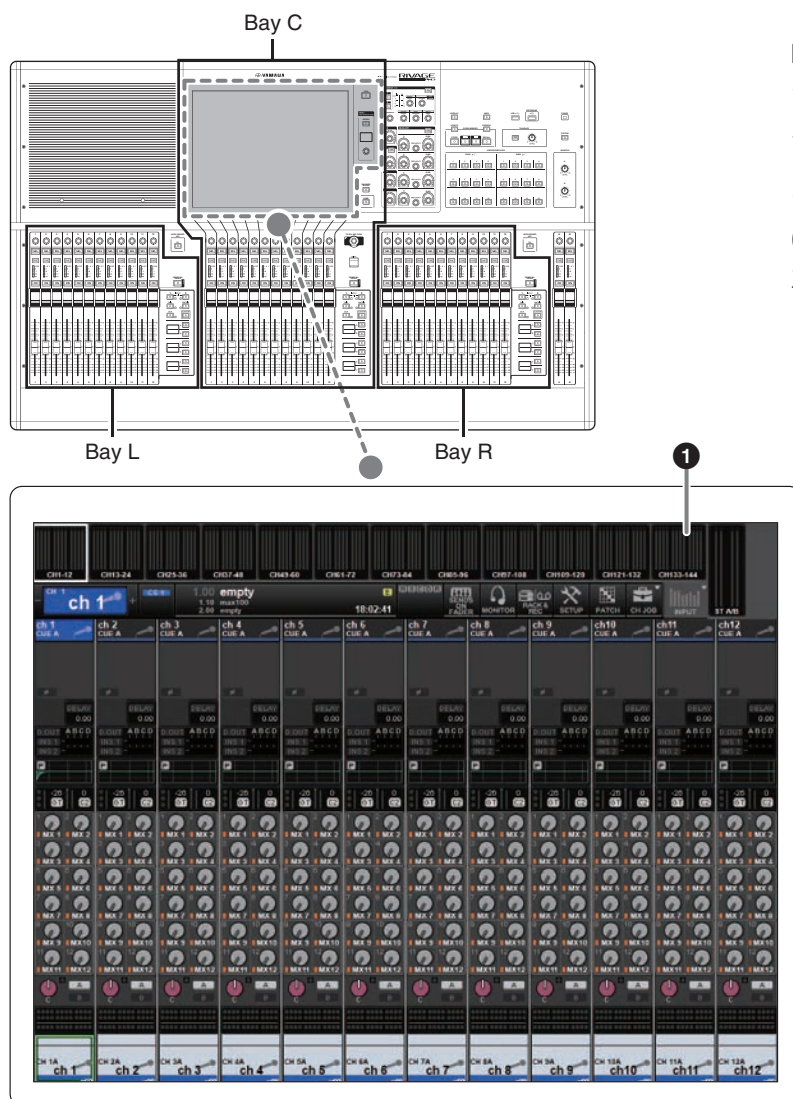
D USER DEFINED KEYSセクション



- ① USER DEFINEDキー BANK A/C [1]～[12]
- ② USER DEFINEDキー BANK B/D [1]～[12]
- ③ USER DEFINEDキー [E1]/[E2]

あらかじめ機能を割り当てて操作するキーです。

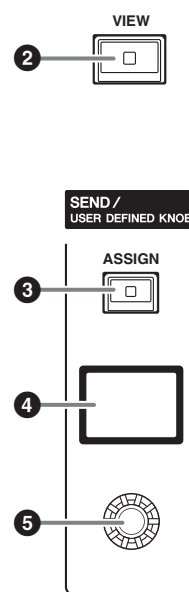
E タッチスクリーンセクション(Bay C)



Bay

タッチスクリーンセクションとチャンネルストリップセクションを合わせた12フェーダー単位を1つの"Bay"と呼びます。

CS-R3には3つのBayがあり、それぞれ独立して操作できます。



① タッチスクリーン

画面上を指で押して操作するマルチタッチスクリーンです。メニューやパラメーターの設定を画面上で行ないます。手袋などを着用して操作すると、正しく動作しません。

注記

先のとがったものや、爪などの硬いもので、画面を操作しないでください。画面を傷つけたり、タッチスクリーンでの操作ができなくなるおそれがあります。

NOTE

- タッチスクリーンが汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。
- タッチスクリーンには、工場出荷時に透明の保護フィルムが貼られていますので、はがしてからご使用ください。

② [VIEW]キー

OVERVIEW画面とSELECTED CHANNEL VIEW画面を呼び出し、交互に切り替えます。

SEND / USER DEFINED KNOB

送り先のバスを変更し、センドレベルを調節します。また、USER DEFINED KNOB機能に切り替えて、割り当てた機能进行操作します。

③ [ASSIGN]キー

送り先のバスの変更や、USER DEFINED KNOB機能への切り替えをするための画面を表示します。工場出荷時のバスはSEND TO MIX 1に設定されています。

④ ディスプレイ

SEND機能では、選択しているバスとセンドレベルを表示します。

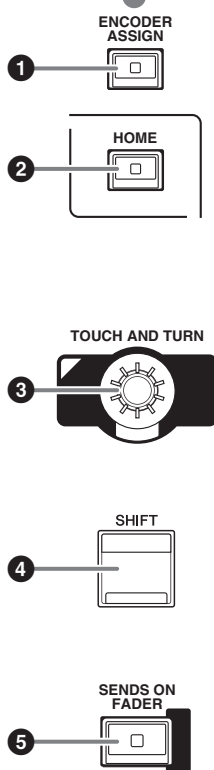
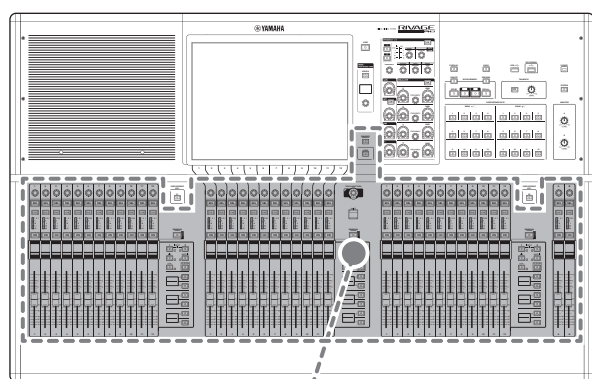
USER DEFINED KNOB機能では、割り当てた機能とその値を表示します。

⑤ SEND / USER DEFINED ノブ

SEND機能では、対応するバスへのセンドレベルを調節します。

USER DEFINED KNOB機能では、あらかじめ割り当てた機能进行操作します。

F チャンネルストリップセクション(Bay L、Bay C、Bay R)



① [ENCODER ASSIGN]キー

Bay Cについてスクリーンエンコーダー機能とチャンネルエンコーダー機能を切り替えるための画面を表示します。Bay L、Bay Rと、チャンネルストリップA/Bは、チャンネルエンコーダー機能のみ使用できます。

② [HOME]キー

ベイに関する設定をまとめて呼び出します。長押しすると以下の設定を保存できます。

- ・ レイヤーや表示画面など
- ・ 画面内の操作/表示対象チャンネル

③ [TOUCH AND TURN]ノブ

タッチスクリーン内で操作したいノブを押して選択すると、このノブで操作できます。

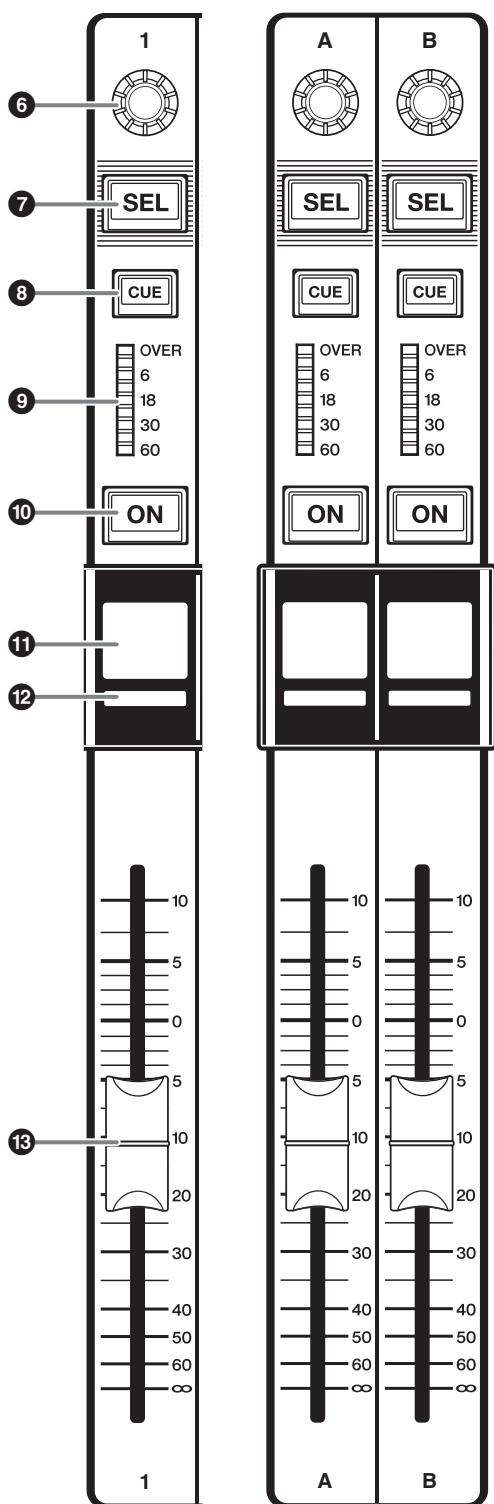
④ [SHIFT]キー

他のキーと組み合わせて、各種機能进行操作します。組み合わせ例を下表に示します。詳細はRIVAGE PMシリーズオペレーションマニュアルをご参照ください。

操作	機能
[SHIFT]キーを押しながら複数の[SEL]キーを押す。	一時リンク。 複数チャンネルのパラメーターを一括で操作できる。

⑤ [SENDS ON FADER]キー

SENDS ON FADERモードのオン/オフを切り替えます。SENDS ON FADERモードをオンにすると、インプットフェーダーが、対応するバスへのセンドレベルになります。



⑥ ストリップエンコーダー

Bay Cのチャンネルストリップ1～12では、スクリーンエンコーダー機能とチャンネルエンコーダー機能の2つの機能が使用できます。切り替えは、[ENCODER ASSIGN]キー (→ 17ページ ①)を使います。Bay L、Bay Rのチャンネルストリップ1～12と、チャンネルストリップA/Bは、チャンネルエンコーダー機能のみ使用できます。

・ スクリーンエンコーダー機能：

画面内の操作子の選択によって、最大12のパラメーターが割り当てられます。

・ チャンネルエンコーダー機能：

チャンネルストリップに並んだ12チャンネルのパラメーターがアサインされます。パラメーターは、[ENCODER ASSIGN]キー (→ 17ページ ①)を使って切り替えます。

⑦ [SEL]キー

チャンネルストリップセクションやディスプレイで操作するチャンネルを選択するキーです。選択中はLEDが点灯します。

⑧ [CUE]キー

キューするチャンネルを選択します。

⑨ メーター LED

チャンネルのレベルを表示します。

⑩ [ON]キー

チャンネルのオン/オフを切り替えます。オンのチャンネルは、キーのLEDが点灯します。ミュートグループなどによりミュートされているときは点滅します。SENDS ON FADERモード(⑤ [SENDS ON FADER]キー (17ページ)参照)では、各チャンネルから現在選ばれているMIX/MATRIXバスに送られる信号のオン/オフを切り替えます。

⑪ チャンネルネームディスプレイ

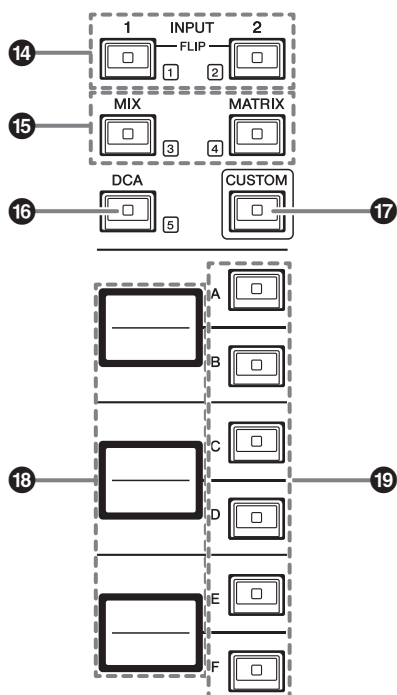
チャンネルネームやフェーダー値を表示します。

⑫ チャンネルカラーインジケーター

チャンネルカラーを表示します。

⑬ フェーダー

タッチセンサ付きの100mmモーターフェーダーです。SENDS ON FADERモードでは、各チャンネルから現在選ばれているMIX/MATRIXバスへのセンドレベルを調節します。



14 INPUT [1]/[2]キー

インプットのレイヤーを選択します。INPUT [1] キーを押すとINPUT 1～72のレイヤー、INPUT [2]キーを押すと、INPUT 73～144のレイヤーを選択できます。

NOTE

INPUT [1]キーとINPUT [2]キーを同時に押すと、INPUT 145～288のレイヤーを選択できます。もう一度同時に押すと、INPUT 1～144のレイヤーに戻ります。INPUT 145～288を選択しているときは、INPUT 1～144を選択しているときとは異なる色で点灯します。

15 [MIX]/[MATRIX]キー

アウトプットチャンネルのレイヤーを選択します。

16 [DCA]キー

DCAのバンクを選択します。

17 [CUSTOM]キー

カスタムフェーダーモードのオン/オフを切り替えます。

INPUT [1]/[2]キー、[MIX]/[MATRIX]キー、[DCA]キーを使ってCUSTOMバンクを選択します。キー近くに表示されている1～5がバンク番号です。

18 レイヤーディスプレイ

レイヤーセレクトキー (→ 19ページ 19) が選択したレイヤーの名前を表示します。

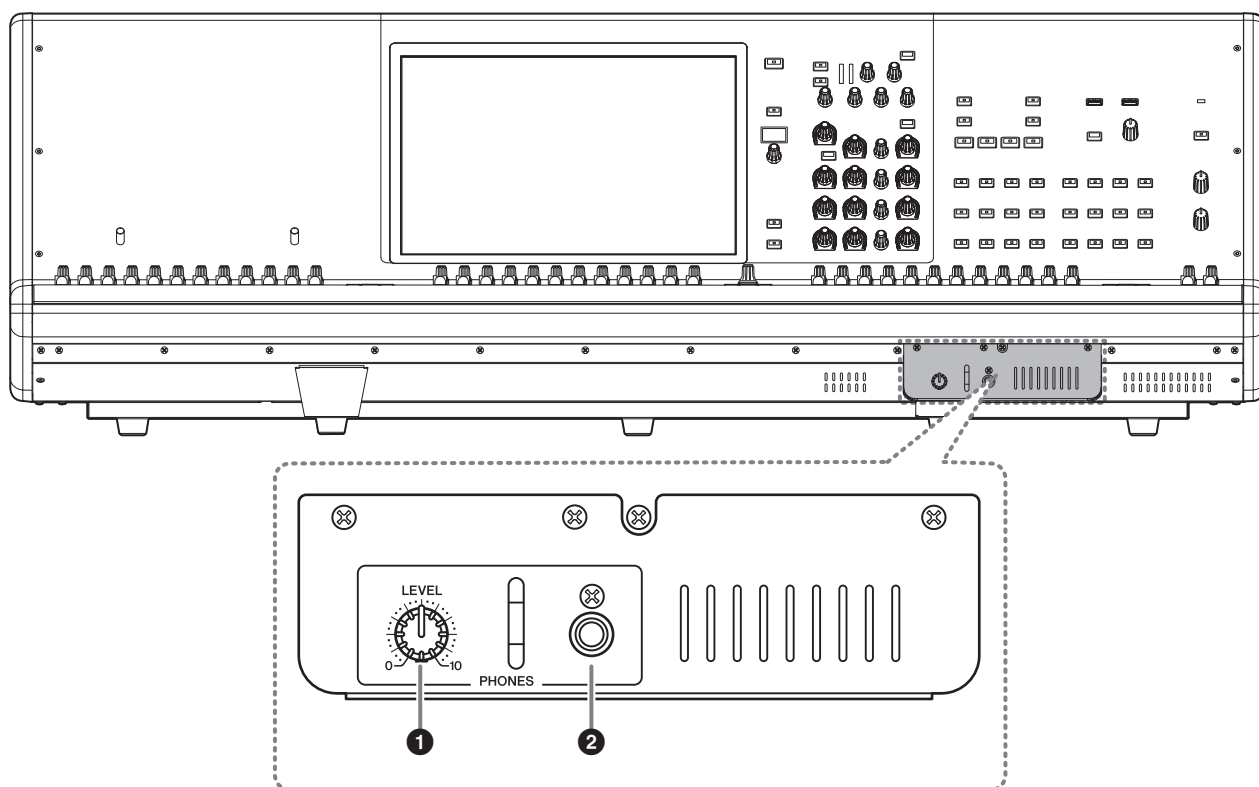
19 レイヤーセレクト[A]/[B]/[C]/[D]/[E]/[F]キー

レイヤーを選択します。下表のキーの組み合わせで、レイヤーがフェーダーに展開されます。

(*14 INPUT [1]/[2]キーのNOTEをご参照ください。)

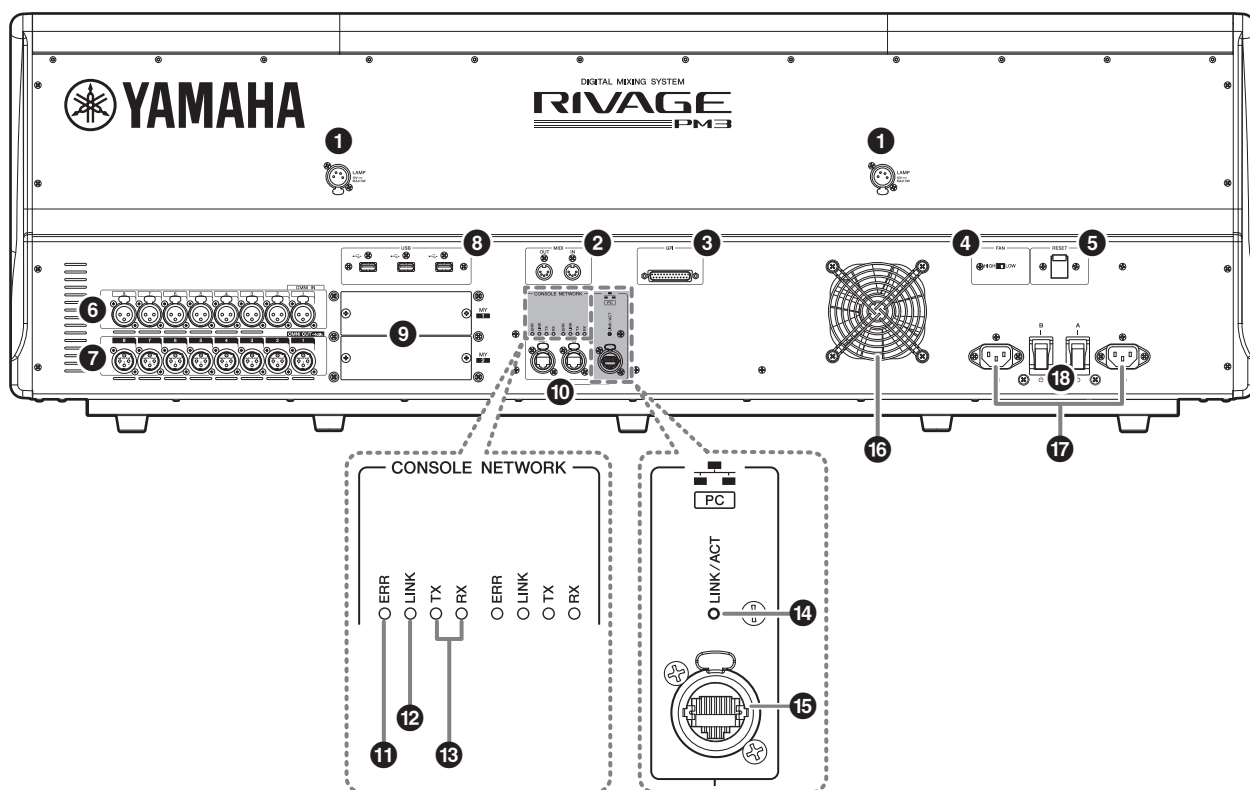
キー	INPUT [1] / INPUT [1]+[2]*	INPUT [2] / INPUT [1]+[2]*	[MIX]	[MATRIX]	[DCA]
[A]	インプット1-12 / 145-156*	インプット73-84 / 217-228*	MIX 1-12	MATRIX 1-12	DCA 1-12
[B]	インプット13-24 / 157-168*	インプット85-96 / 229-240*	MIX 13-24	MATRIX 13-24	DCA 13-24
[C]	インプット25-36 / 169-180*	インプット97-108 / 241-252*	MIX 25-36	MATRIX 25-36	—
[D]	インプット37-48 / 181-192*	インプット109-120 / 253-264*	MIX 37-48	STEREO	—
[E]	インプット49-60 / 193-204*	インプット121-132 / 265-276*	MIX 49-60	CUE/MONITOR	—
[F]	インプット61-72 / 205-216*	インプット133-144 / 277-288*	MIX 61-72	—	—

フロントパネル



- ① PHONES [LEVEL] ノブ**
PHONES出力端子から出力される信号のレベルを調節します。
- ② PHONES 出力端子**
MONITOR信号またはCUE信号をモニターするヘッドホン端子です。

リアパネル



① LAMP端子

別売のヤマハLA1L (グースネック式のランプ)に電源を供給する、4ピンメスのXLR出力端子です。

② MIDI OUT/IN端子

外部MIDI機器との間でMIDIメッセージを送受信する端子です。

③ GPI端子

GPIに対応した外部機器との間で信号の送受信(8イン/8アウト)を行なうためのD-sub 25ピンメス端子です。

④ [FAN]スイッチ

機器内部の冷却ファンの回転速度をHIGH(高)とLOW(低)の2段階で切り替えるスイッチです。

NOTE

工場出荷時はLOWに設定されていますが、LOWでもHIGHでも動作保証温度の範囲内で問題なくご使用いただけます。周囲の温度が高い場合、周囲の温度は動作保証範囲内でも直射日光があたるような場合、ファンによる騒音が問題にならない場合には、HIGHに切り替えて使用することをおすすめします。

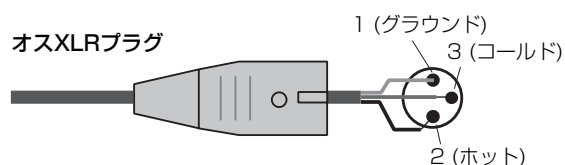
⑤ [RESET]スイッチ

コントロールサーフェスをリセットするスイッチです。
音声を途切れさせることなく、コントロール部分(画面、表示、操作子)だけを再起動します。万が一、コントロールサーフェスが操作に反応しなくなった場合に使用します。

⑥ OMNI IN端子

ラインレベル機器やマイクのアナログオーディオ信号を入力するバランスXLR-3-31メスタイプの入力端子です。

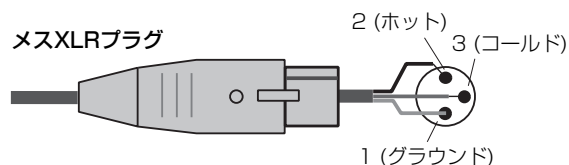
オスXLRプラグ



⑦ OMNI OUT端子

アナログオーディオ信号を出力するバランスXLR-3-32オスタイプの出力端子です。

メスXLRプラグ



⑧ USB端子

USBメモリーなどのUSBストレージデバイス、USBマウス、USBキーボードを接続できます。

⑨ MYカードスロット

別売のMini-YGDAI I/Oカードを装着して、入出力ポートを拡張できます。

10 CONSOLE NETWORK OUT/IN端子

イーサネットケーブル(CAT5e以上を推奨)を使用して、Console Network(*)にリング接続するためのRJ-45端子です。

* Console Network

DSPエンジンには、コントロールサーフェス専用の接続端子があり、コントロールサーフェスを接続できます。このコントロールサーフェスとDSPエンジン間のネットワークをConsole Networkと呼びます。

NOTE

- 電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。STPケーブルは、コネクタの金属部分とケーブルのシールド部分を導電テープなどで確実に接触させてください。
- Neutrik社製etherCON CAT5と互換性のあるRJ-45プラグのケーブルをおすすめします。通常のRJ-45プラグも使用できます。
- ケーブル長は機器間で最長約100mです。ケーブルによって、使用できる長さは異なります。

11 ERRインジケータ

エラー発生時に赤色に点灯/点滅します。

巻末のヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

12 LINKインジケータ

ネットワークの状況に応じて点滅/点灯します。

緑(点滅)	Console Networkへの接続準備中です。この状態が続く場合、正しく動作していません。以下の対処をしても問題が解消されない場合は、巻末のヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。 - ケーブルの接続方法が正しいか確認する。 - ケーブルが確実に挿入(ロック)されているか確認する。 - RIVAGE PMシリーズシステムの電源を入れ直す。 - 別のケーブルに交換する。
緑(点灯)	Console Networkに正しく接続しています。

13 TX/RXインジケータ

TO ENGINE OUT/IN端子で信号を送信(TX)または受信(RX)すると、それぞれのインジケータが緑色に点滅します。

14 LINK/ACTインジケータ

接続状況に応じて緑色に点滅/点灯します。

15 NETWORK [PC] 端子

イーサネットケーブル(CAT5e以上を推奨)を使用して、コンピューターやネットワーク機器と接続するRJ-45端子です。

NOTE

- 電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。STPケーブルは、コネクタの金属部分とケーブルのシールド部分を導電テープなどで確実に接触させてください。
- Neutrik社製etherCON CAT5と互換性のあるRJ-45プラグのケーブルをおすすめします。通常のRJ-45プラグも使用できます。
- ケーブル長は機器間で最長約100mです。ケーブルによって、使用できる長さは異なります。

16 排気口

コントロールサーフェスには冷却用ファンが装備されています。ここから排気が行なわれますので、障害物などで排気口をふさぐことのないようご注意ください。

吸気は、前面下と背面の通風孔から行なわれます。



注意

本製品の通風孔(放熱用スリット)をふさがないでください。内部の温度上昇を防ぐため、本製品の前面下と背面には通風孔があります。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

17 AC IN(電源入力)端子

付属の電源コードを接続します。まずこの機器と電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。

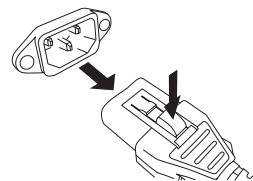
電源コードを接続するときは、ロックされるまでしっかり奥に差し込んでください。付属の電源コードはラッチによるロック機構(Vロック)を備えており、電源コードが意図せず外れてしまうのを防ぎます。



注意

電源コードを接続したり、取り外したりする前に必ず電源をオフにしてください。

電源コードを取り外すときは、電源コードのラッチを押して取り外してください。



18 [I]/[](電源スイッチA/B)

電源のオン(I)/オフ()を切り替えます。

電源がオンのとき、トップパネルのPOWERインジケータ(→ 13ページ 5)が点灯します。

電源の準備/ シャットダウン

電源の接続

1. 本体の電源スイッチ A/B を両方ともオフにします。
2. 付属の電源コードの 1 本を本体リアパネルの AC IN 端子 (A) に、もう 1 本を本体リアパネルの AC IN 端子 (B) に接続します。
3. 電源コードのもう一端のプラグを 2 本とも電源コンセントに接続します。

NOTE

- 電源コードを外すときは、逆の手順で行なってください。
- 電源コードを取り外すときは、電源コードのラッチを押して取り外してください。



警告

電源コードは、必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用すると、発熱や感電の原因になります。



注意

電源コードの接続、取り外しの前に電源を必ずオフにしてください。

SHUTDOWN (電源のオフ手順)

コントロールサーフェスの電源をオフする前に、現在の状態をシーンメモリーにストアしておくことをおすすめします。

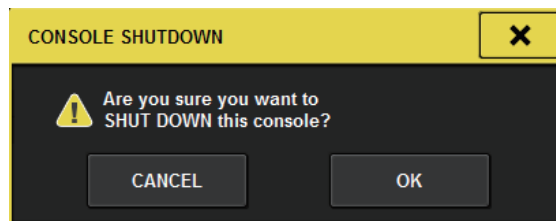
現在のコンポーネントの接続状態と、再び電源をオンしたときのコンポーネントの接続状態が異なる場合、パッチなどの設定が変更されることがあります。シーンをストアする手順は、RIVAGE PMシリーズオペレーションマニュアルをご参照ください。

注記

シャットダウンを行わずにコントロールサーフェスの電源を切ると、内蔵ストレージのデータなどが破損するおそれがあります。コントロールサーフェスの電源を切るときは、必ずこのシャットダウン操作を実行してください。

1. [SYSTEM] キー(→ 13 ページ ⑥) を 2 秒以上長押しします。

シャットダウンを確認するメッセージが表示されます。



2. 電源を切るには、OK ボタンを押します。キャンセルする場合は、CANCEL ボタンを押します。
3. パネルの LED が消え、タッチスクリーンが暗くなり、POWER インジケーターが橙色になるまで待ちます。
4. リアパネルの電源スイッチ A/B を両方オフにします。

注記

- 電源を入れる場合、電源を切って 5 秒以上経ってから行なってください。故障の原因となる場合があります。
- 電源スイッチがオフの状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

オプションカードの 取り付け/取り外し

Mini-YGDAIカードの取り付け

カードを取り付ける前に、CS-R3対応のカードか、他のヤマハまたはサードパーティー製のカードと組み合わせて何枚まで挿入可能かを、ヤマハプロオーディオウェブサイトで必ずご確認ください。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

1. 電源がオフになっていることを確認します。

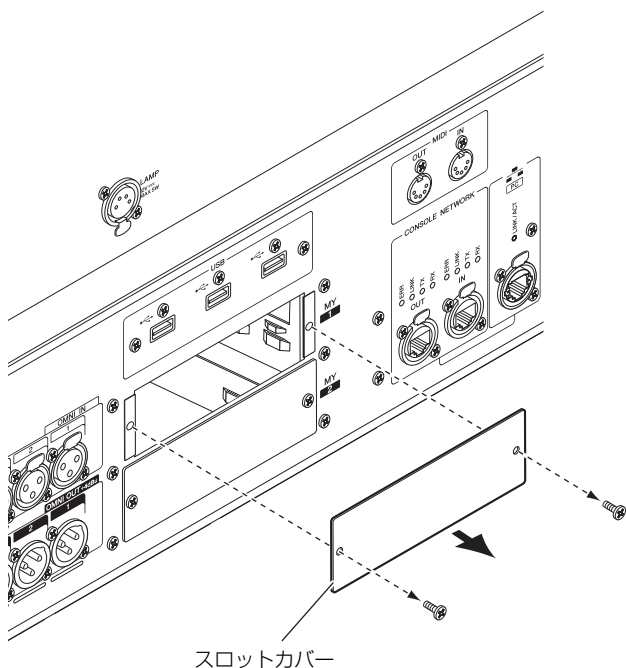


注意

電源がオンの状態で作業すると、故障や感電の原因になります。

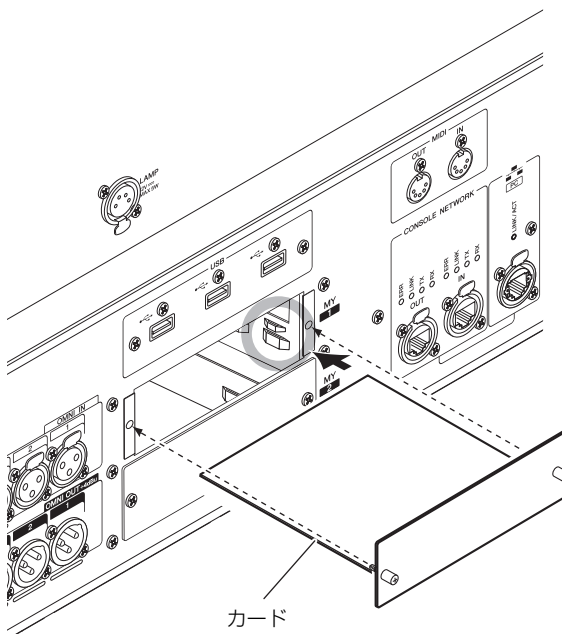
2. スロットの固定ネジをゆるめ、スロットカバーを取り外します。

取り外したスロットカバーやネジは、安全な場所に保管してください。



3. スロット内のガイドレールにカードの両端を合わせ、カードをスロットに挿入します。

このとき、カードの端子部分がスロット内部の端子に正しく挿さるようカードをいっぱいまで押し込んでください。



4. カードに取り付けられているネジでカードを固定します。

カードが固定されていないと、故障や誤動作の原因になります。

Mini-YGDAIカードの取り外し

1. 電源がオフになっていることを確認します。



注意

電源がオンの状態で作業すると、故障や感電の原因になります。

2. カードを固定しているネジを完全にゆるめます。

3. ネジを持って、カードを手前に引き出します。

4. 保管しておいたスロットカバーを取り付け、ネジで固定します。

タッチスクリーン

タッチスクリーンの基本操作

ここでは、本体のタッチスクリーン上の基本操作について説明します。

タッチスクリーンを押す

主に表示する画面/ページの切り替え、操作するパラメーターの選択、ボタンのオン/オフ切り替えなどに使用します。なお、ボタンの種類によっては、押す位置に応じて値が変更できるものもあります。

画面内のユーザーインターフェース

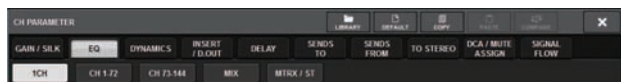
ここでは、タッチスクリーン上のユーザーインターフェースの種類と操作方法を説明します。

タブ

複数のページを切り替えるときに使用します。タブにはページ名が表示されます。

ボタン

特定の機能を実行したり、パラメーターのオン/オフを切り替えたり、複数の選択肢の中から1つを選択したりするときに使用します。オン/オフを切り替えるボタンは、オンに設定されているときは背景色がはっきりと表示され、オフに設定されているときは薄暗く表示されます。



フェーダー/ノブ

画面内のフェーダー/ノブは、トップパネル上のフェーダーやノブと連動します。現在の設定値は、フェーダー/ノブのすぐ下に表示されています。

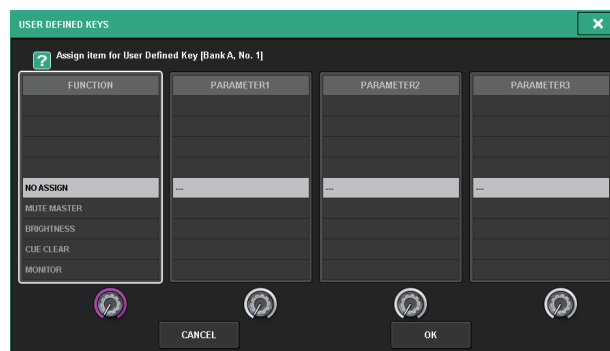
[TOUCH AND TURN]ノブで操作できるノブを1回押すと、ノブの周囲が太枠で囲まれます。この枠は、操作対象として選ばれていることを示しています。

NOTE

ノブによっては、太枠で囲まれた状態でもう1回押したときに、さらに詳細を設定するための画面が表示されるものもあります。

リスト画面

USER DEFINEDキーなど、リストの中から項目を選ぶ場合は、次のような画面が表示されます。



リスト内部では、常に反転表示された中央の項目が操作対象として選択されます。リストの下にあるスクリーンエンコーダーで、リストを上下にスクロールさせます。

キーボード画面

シーンやライブラリーに名前やコメント、またチャンネルネームを付けるときには、次のキーボード画面が表示されます。画面内の文字を押して文字を入力します。



ポップアップ画面

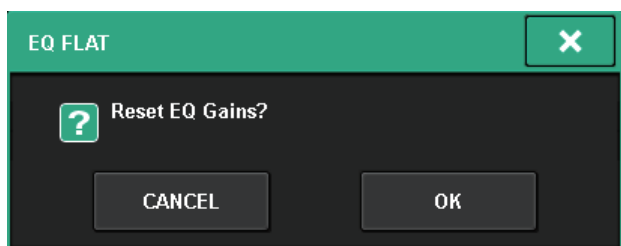
画面内で特定のパラメーターに対応するボタンやフィールドを押すことで、そのパラメーターの詳細や一覧を表示する画面が表示されます。この画面を“ポップアップ画面”と呼びます。



用途に応じてタブで切り替えができたり、上部にツールボタンがいくつか表示されたりするポップアップ画面があります。ツールボタンを使って、ライブラリーの呼び出しや、コピー/ペーストなどができます。ポップアップ画面を閉じて直前の画面に戻るには、右上の×マークを押します。

ダイアログ

直前の操作に対して、何か確認が必要なときは、次のようなダイアログが表示されます。



OKボタンを押すと操作が実行されます。またCANCELボタンを押すと操作が無効になります。

タッチスクリーンの見方

タッチスクリーンに表示される代表的な画面は、次の2種類があります。

■ OVERVIEW画面

レイヤー選択された12チャンネル分の主要パラメーターを同時に表示する画面です。



■ SELECTED CHANNEL VIEW画面

現在選ばれているチャンネルのミックスパラメーターを一括表示する画面です。



その他の操作

本体を工場出荷時の状態に初期化する

本体の内蔵メモリーにエラーが起きたとき、またはパスワードを忘れてしまったために操作できなくなったときは、次の操作で内蔵メモリーを初期化できます。

注記

内蔵メモリーを初期化すると、それまでメモリー内に保存されていた内容が失われます。

以下の操作は慎重に行ってください。

1. タッチスクリーンのメニューバーの **SETUP** ボタンを押します。



SETUP画面が表示されます。

2. **MAINTENANCE** ボタンを押します。



MAINTENANCEポップアップ画面が表示されます。この画面には複数のページが含まれており、画面上部のタブを使ってページを切り替えます。



3. **INITIALIZATION** タブを押します。
4. 希望する初期化方法に応じて、初期化内容を複数選びます。
 - SYSTEM LOG
 - LIBRARY
 - SCENE
 - OTHER
5. **INITIALIZE THIS CONSOLE** ボタンを押します。操作を確認するダイアログが表示されます。
6. 確認ダイアログ内の **OK** ボタンを押します。初期化が開始されます。

NOTE

初期化後にコントロールサーフェスが再起動されます。

フェーダーを調整する (キャリブレーション機能)

使用環境によっては、モーターフェーダーの挙動にずれが生じる場合があります。この挙動のずれは、キャリブレーション機能を使って調整できます。CS-R3には、2種類のフェーダーキャリブレーション機能が用意されています。

MOTOR DRIVE キャリブレーション	自動的にフェーダーのモーターの動きを最適化する
POSITIONING キャリブレーション	フェーダーのノブ位置とミキサー内部の設定値(パラメーター)を一致させるように補正する

NOTE

コントロールサーフェス起動時に、フェーダー設定値に問題が検出された場合は、警告メッセージが表示されます。

1. タッチスクリーンのメニューバーの **SETUP** ボタンを押します。

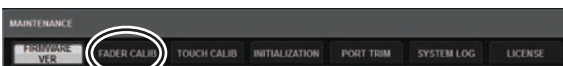


SETUP画面が表示されます。

2. **MAINTENANCE** ボタンを押します。



MAINTENANCEポップアップ画面が表示されます。この画面には複数のページが含まれており、画面上部のタブを使ってページを切り替えます。

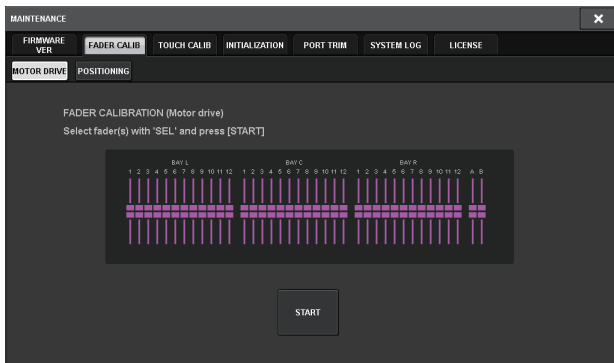


3. **FADER CALIB** タブを押します。フェーダーを調整するFADER CALIBRATION画面が表示されます。
4. フェーダーキャリブレーションの種類を選択します。



MOTOR DRIVEタブを選択した場合

指定したチャンネルストリップセクション、マスターセクションのフェーダーに対して、自動的にフェーダーのモーターの動きを最適化します。



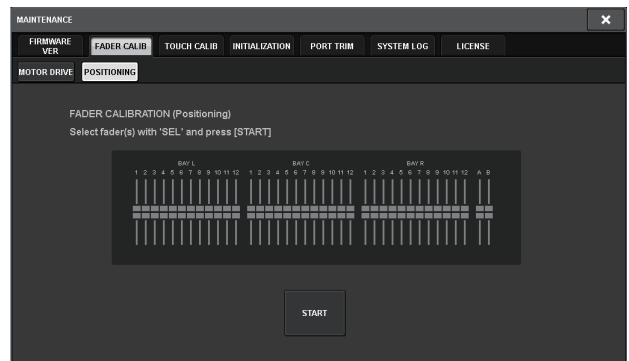
5. [SEL] キーを押してキャリブレーションするフェーダーを指定します。
起動時のチェックでフェーダー設定値に問題が検出されたフェーダーは、あらかじめ選択されています。

6. START ボタンを押します。
モーターの動きの最適化を開始します。キャリブレーション中は[SEL]キーが点滅します。
途中でキャンセルする場合は、STOPボタンを押します。モーターの最適化が終わると、[SEL]キーは消灯します。

7. キャリブレーションが終了したら、FINISH ボタンを押します。
内部メモリーにキャリブレーション設定値が保存されます。[SEL]キーが点灯し、チャンネルカラーインジケーターが赤く表示された場合は、キャリブレーションに失敗しています。STARTボタンを押し、もう一度キャリブレーションを実行してください。

POSITIONINGタブを選択した場合

指定したチャンネルストリップセクション、マスターセクションのフェーダー位置の補正を行ないます。



5. [SEL] キーを押してキャリブレーションするフェーダーを指定します。
起動時のチェックでフェーダー設定値に問題が検出されたフェーダーは、あらかじめ選択されています。
6. START ボタンを押します。
7. 指定したすべてのフェーダーについて、以下の順番でフェーダーが目標位置に動きます。
フェーダー位置のずれを手作業で調整します。
 - ① $-\infty$ dB (下突き当て)
 - ② -20 dB
 - ③ 0 dB
 - ④ $+10$ dB (上突き当て)
8. フェーダー位置を合わせたら、NEXT ボタンを押します。
処理が次のフェーダー位置に移ります。
9. 手順7～8の操作を繰り返して、①～④のフェーダー位置について設定します。
10. キャリブレーションが終了したら、FINISH ボタンを押します。
内部メモリーにキャリブレーション設定値が保存されます。[SEL]キーが点灯し、チャンネルカラーインジケーターが赤く表示された場合は、キャリブレーションに失敗しています。STARTボタンを押し、もう一度キャリブレーションを実行してください。

困ったときは

ヤマハプロオーディオウェブサイトにて、FAQ (よくあるご質問と答え)を掲載しています。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

電源が入らない

- 電源スイッチがオンになっていますか？
- 電源コードを接続していますか？
- ➡ それでも電源が入らない場合は、巻末に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

音が入力されない

- オプションカードは正しく装着されていますか？
- ケーブルは正しく接続されていますか？
- インプットチャンネルの[ON]キーのインジケータは点灯していますか？
- インプットチャンネルのフェーダーは上がっていますか？

音が小さい

- ヘッドアンプのゲインが適切なレベルに設定されていますか？
- デジタルゲインが適切なレベルに設定されていますか？
- インプットチャンネルのフェーダーは上がっていますか？
- アウトプットチャンネルのフェーダーは上がっていますか？

音が歪む

- ヘッドアンプは正しく設定されていますか？
- インプットチャンネルのフェーダーが上がりすぎていませんか？
- アウトプットチャンネルのフェーダーが上がりすぎていませんか？

タッチスクリーン、LED、ランプが暗い

- SETUP 画面で、輝度 (BRIGHTNESS) が下がっていませんか？

LCD ディスプレイ内に、点灯しない点や点灯したままの点がある

- カラー液晶の特性です。故障ではありません。

仕様

一般仕様

ミキシングキャパシティ			288 Inputs、72 MIX + 36 MATRIX + 2 STEREO (DSP-RX-EX)
サンプリング 周波数	内部クロック	Frequency	44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz
		Accuracy	±50 ppm
		Jitter ^{*1}	1.0 ns @Fs=88.2 kHz/96 kHz、2.0 ns @Fs=44.1 kHz/48 kHz
ユーザーインターフェース			100 mm touch-sensitive motorized fader (resolution=1024 steps) x 38 15" multi-touch screen (high brightness, wide view angle) Touch sensitive knobs in the Selected Channel section
電源電圧			100-240 V、50/60 Hz
消費電力			200 W
外形寸法	W x H x D		1145 mm × 385 mm × 650 mm (ゴム足含む)
質量			38 kg
NC値 ^{*2}			FAN speed LOW: NC=20 / HIGH: NC=25
温度範囲	Operating temperature range		Min: 0℃、Max: 40℃
	Storage temperature range		Min: -20℃、Max: 60℃
付属品			取扱説明書、電源コード x 2、ダストカバー、Nuendo Live (DAWソフトウェア)
別売オプション			Mini-YGDAIカード、グースネックランプ LA1L

*1. Mini-YGDAIカードMY8-AE96の出力で測定

*2. 機器(フロントパッド)先端から、手前30cm、上30cm位置で測定

音響特性

測定時、すべてのレベルはノミナルです。信号発生器の出力インピーダンスは150Ωです。

周波数特性

@20 Hz-20 kHz, reference to the nominal output level @1 kHz

入力	出力	RL	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
OMNI IN 1-8	OMNI OUT 1-8	600Ω	GAIN: +66 dB	-1.5	0.0	0.5	dB

全高調波歪率

入力	出力	RL	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
OMNI IN 1-8	OMNI OUT 1-8	600Ω	+4 dBu@20 Hz-20 kHz, GAIN: -6 dB			0.05	%
Internal OSC	OMNI OUT 1-8	600Ω	Full scale output @1 kHz			0.02	%
Internal OSC	PHONES	8Ω	Full scale output @1 kHz, PHONES LEVEL: max.			0.2	%

* 全高調波歪率の測定には、80 kHz、18 dB/octのフィルターを用いています。

ハム&ノイズ^{*2}

入力	出力	RL	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
OMNI IN 1-8	OMNI OUT 1-8	600Ω	Rs= 150Ω, GAIN: +66 dB		-128 EIN ^{*1}		dBu
					-62		dBu
OMNI IN 1-8	OMNI OUT 1-8	600Ω	Rs= 150Ω, GAIN: -6 dB		-91	-86	dBu
—	OMNI OUT 1-8	600Ω	Residual output noise, output channel is off.		-96		dBu
—	PHONES	8Ω	Residual output noise, PHONES LEVEL: min.			-88	dBu

*1. EIN=Equivalent Input Noise

*2. ハム&ノイズレベルの測定にはIHF-Aフィルターを用いています。

ダイナミックレンジ

入力	出力	RL	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
OMNI IN 1-8	OMNI OUT 1-8	600Ω	AD + DA, GAIN: -6 dB		115		dB
—	OMNI OUT 1-8	600Ω	DA Converter		120		dB

* ダイナミックレンジの測定にはIHF-Aフィルターを用いています。

クロストーク(@1kHz)

from/to	to/from	条件	Min.	Typ.	Max.	単位
OMNI IN n	OMNI IN (n-1) or (n+1)	OMNI IN 1-8, adjacent inputs, GAIN: -6 dB			-100	dB
OMNI OUT n	OMNI OUT (n-1) or (n+1)	OMNI OUT 1-8, input to output			-100	dB

* クロストークの測定には、22 kHz、30 dB/octのフィルターを用いています。

入出力仕様

アナログ入力規格^{*3*4}

入力端子	ゲイン	入力インピーダンス	ソースインピーダンス	入力レベル			コネクタ
				感度 ^{*1}	規定レベル	最大ノンクリップレベル	
OMNI IN 1-8	+66 dB	7.5 kΩ	50-600Ω Mics & 600Ω Lines	-82 dBu (61.6 μV)	-62 dBu (0.616 mV)	-42 dBu (6.16 mV)	XLR-3-31 type (Balanced) ^{*2}
	-6 dB			-10 dBu (245 mV)	+10 dBu (2.45 V)	+30 dBu (24.5 V)	

*1. 感度とは、すべてのフェーダーとレベルコントロール類を最大に設定したときに、+4 dBu (1.23 V) または規定レベルを出力するために必要な入力レベルです。

*2. 1= GND、2= HOT、3= COLD

*3. 0 dBu= 0.775 Vrms

*4. OMNI IN端子1～8には、端子ごとに設定可能な+48 V DC (ファンタム電源)が搭載されています。

アナログ出力規格^{*5}

出力端子	出力インピーダンス	負荷インピーダンス	最大出力レベル 選択スイッチ ^{*1}	出力レベル		コネクタ
				規定レベル	最大ノンクリップレベル	
OMNI OUT 1-8	75Ω	600Ω Lines	+24 dBu (default)	+4 dBu (1.23 V)	+24 dBu (12.3 V)	XLR-3-32 type (Balanced) ^{*2}
			+18 dBu	-2 dBu (0.616 V)	+18 dBu (6.16 V)	
PHONES	15Ω	8Ω Phones	—	75 mW ^{*3}	150 mW	Stereo Phone Jack (TRS) (Unbalanced) ^{*4}
		40Ω Phones	—	65 mW ^{*3}	150 mW	

*1. 本体内部に、最大出力レベルを切り替えるためのスイッチがあります。

*2. 1= GND、2= HOT、3= COLD

*3. PHONES LEVELノブを最大位置から10 dB低い位置にした場合の値です。

*4. Tip= LEFT、Ring= RIGHT、Sleeve= GND

*5. 0 dBu= 0.775 Vrms

I/Oスロット規格

MYカードスロット x 2

コントロール入出力規格

端子	フォーマット	レベル	コネクタ
MIDI IN	MIDI	–	DIN 5pin
MIDI OUT	MIDI	–	DIN 5pin
USB 1-4	USB 2.0 Host	USB	USB A (Female)
RECORDING ^{*1}	USB 2.0 Host	USB	USB A (Female)
NETWORK [PC]	IEEE802.3	10BASE-T/100BASE-TX	etherCON CAT5 ^{*2} ^{*4}
CONSOLE NETWORK IN/OUT	–	1000BASE-T	etherCON CAT5e ^{*3} ^{*4}
GPI ^{*5}	–	–	D-sub 25 pin (Female)
LAMP 1-2	–	0-12 V	XLR-4-31 type ^{*6}

*1. 対応フォーマットはWAV、MP3です。

*2. 接続するケーブルは、CAT5以上です。

*3. 接続するケーブルは、CAT5e以上です。

*4. 接続するケーブルは、STPを推奨しています。

*5. 入力ピン

CH 1～7: TTL(入力電圧0～5 V)

CH 8: フォトカプラ(入力電圧0～24 V、ローレベル1 V以下ハイレベル5 V以上)

出力ピン

CH 1～7: オープンドレイン(最大供給電圧12 V、最大流入電流/ピン75 mA)

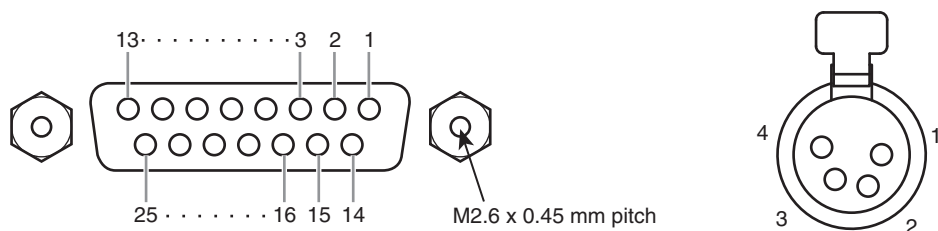
CH 8: リレー接点(最大1 A/30 VDC)

電源ピン

5 V±5%、最大出力電流600 mA

*6. 3= GND, 4= +12 V; ランプ定格は5 Wまで対応しています。

ピンアサイン表



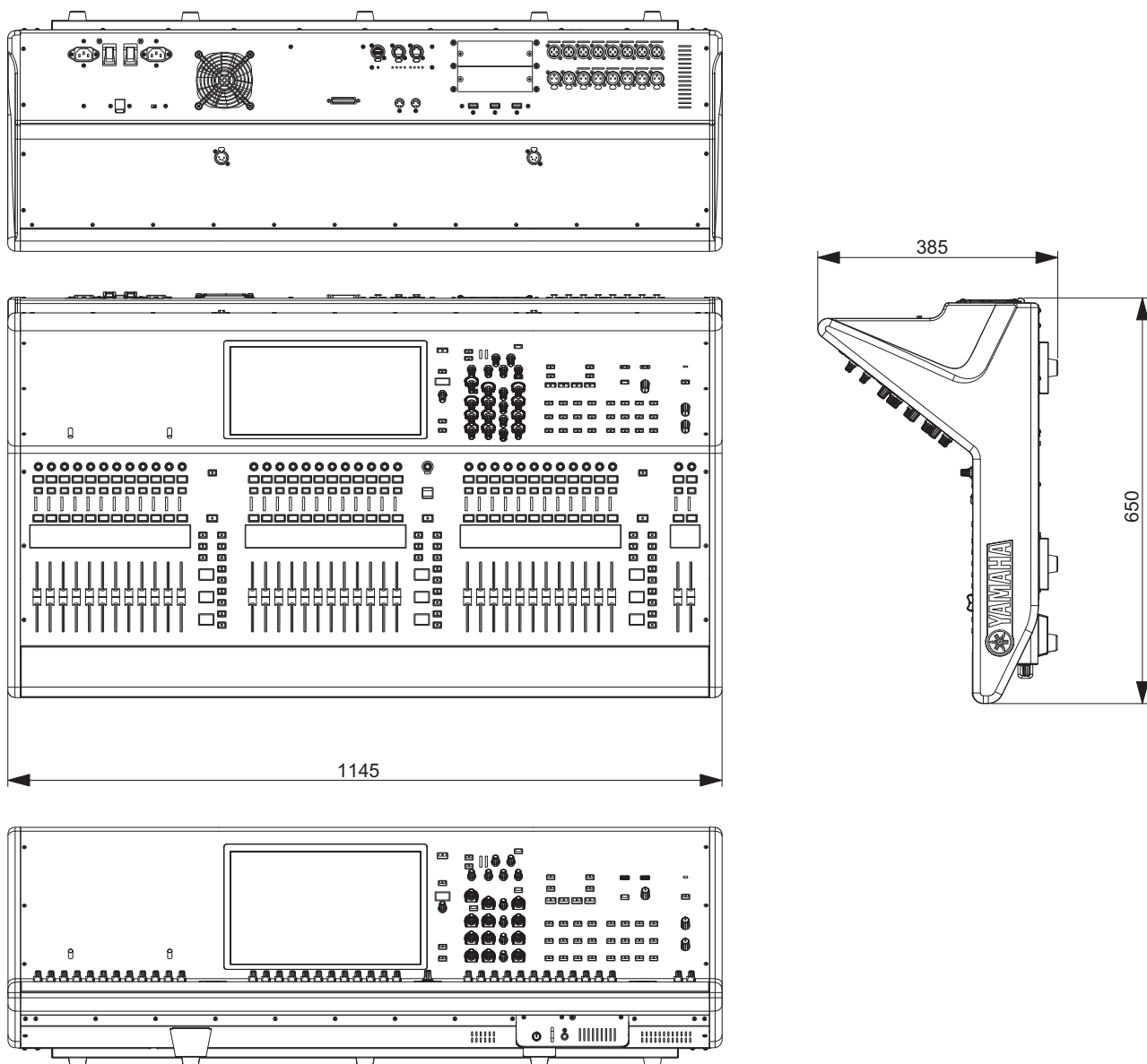
GPI

Pin No.	Signal	Pin No.	Signal
1	GPO1	14	GPO2
2	GPO3	15	GPO4
3	GPO5	16	GPO6
4	GPO7	17	RLY_NC
5	RLY_C	18	RLY_NO
6	GND	19	GND
7	GND	20	OPTO-
8	OPTO+	21	+5V
9	+5V	22	GPI1
10	GPI2	23	GPI3
11	GPI4	24	GPI5
12	GPI6	25	GPI7
13	N.C.		

LAMP

Pin No.	Signal
1	N.C.
2	N.C.
3	GND
4	+12V

寸法図



単位: mm

外装色マンセル近似値: N5

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

索引

A

ASSIGN 16

C

CUE..... 18

CUSTOM..... 19

D

DCA 19

E

ENCODER ASSIGN..... 17

F

FAN 21

H

HOME 17

I

INPUT..... 19

M

MATRIX 19

MIX..... 19

O

OVERLAY..... 14

R

RESET 21

S

SEL 18

SEND / USER DEFINED KNOB..... 16

SENDS ON FADER..... 17

SHIFT 17

SHUTDOWN 23

T

TOUCH AND TURN..... 17

V

VIEW..... 16

お

オプションカード

Mini-YGDAI カード 24

き

キャリブレーション 27

し

初期化 27

す

スクリーンエンコーダー 18

た

タッチスクリーン 25

ち

チャンネルエンコーダー 18

て

[I]/[] (電源スイッチ A/B)..... 22

と

トップパネル

SCENE MEMORY セクション 14

Selected Channel セクション 11

USER DEFINED KEYS セクション 15

UTILITY セクション 13

タッチスクリーンセクション 16

チャンネルストリップセクション 17

ふ

フロントパネル 20

り

リアパネル 21

保証とアフターサービス

サービスのご依頼やお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはこの取扱説明書（以下本書）に記載の修理ご相談センターにご連絡ください。

本書は、保証書の役割を兼ねています。購入を証明する書類（領収書や納品書など、製品名、品番、お買い上げ日、販売店名が記載されたもの）とあわせて、大切に保管してください。保証期間内に万一本製品が故障した場合には、購入を証明する書類をご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。下記の保証規定に基づいて無料修理を行うことをお約束します。

【持込修理】

保証書					
製品名	コントロールサーフェス	品番	CS-R3	製造番号	
お買い上げ日	年 月 日				
保証期間	(お買い上げ日から) 本体: 1年間				
販売店名					

保証規定	
保証期間中、正常なご使用状態のもとで万一発生した故障につきましては、本保証規定に基づき無料修理いたします。	
■ 保証期間中でも以下の場合は有料となります。 - 購入を証明する書類（領収書や納品書など、製品名、品番、お買い上げ日、販売店名が記載されたもの）のご提示がない場合 - 納品後、輸送や修理時の取り扱いが適当でないために生じた故障の場合 - 提供されている各説明書や本規定に記載の注意事項に反する取り扱いによって発生した故障の場合 - 故障の原因が本製品以外の機器にある場合 - 塗装面および金属面が経年変化により退色、変色した場合 - 弊社認定の修理サービス技術者以外の者が修理/改造した部分で、その修理/改造が不適当であった場合 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災および公害や電圧異常による故障の場合 - 鼠害、塩害などによる故障、損傷の場合 - 持込修理対象の品番でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金	■ 転居・譲渡などを伴う場合、その他注意事項 - 転居、ご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、修理ご相談センターにご相談ください。 - 離島および離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の交通費は実費を申し受けます。 - 保証期間内に、本製品を他人に譲渡あるいは転売された場合でも、残存期間は保証いたします。 - 本保証内容は、日本国内においてのみ有効です。 (This warranty is valid only within Japan.)
この保証内容は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。本規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにお問い合わせください。	

● 保証期間経過後の修理

修理が可能な場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにご相談ください。

有寿命部品の例: フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

● 修理のご依頼

本製品に異常が見られた場合は、まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、本製品の状態をお調べください。それでも改善しないときは、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにご連絡ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、品番などとおあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

● 損害に対する責任

本製品（搭載プログラムを含む）のご使用により、お客様に生じた損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益）については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

販売元: 株式会社ヤマハミュージックジャパン 音響事業戦略部

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい5丁目1番2号

横浜シンフォステージ ウェストタワー

* 名称、住所は変更になる場合があります。

修理に関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記の修理ご相談センターにご連絡ください。

※ 修理をご依頼いただくときは、製品名、品番などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理ご相談センター

フリーダイヤル



0120-149-808

携帯電話、IP電話からは

050-3852-4106

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(祝日、センター指定休日を除く)

FAX

- 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海): 03-5762-2125
- 西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄): 06-6649-9340

◆ 修理品お持ち込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(祝日、センター指定休日を除く)

※お電話は、修理ご相談センターでお受けします。

● 東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT京浜E棟A-5F
FAX 03-5762-2125

● 西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル7F
FAX 06-6649-9340

製品の仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記のプロオーディオ・インフォメーションセンターにご連絡ください。

◆ プロオーディオ・インフォメーションセンター

フリーダイヤル



0120-016-808

携帯電話、IP電話からは

050-3852-4471

受付 月曜日～金曜日 11:00～17:00
(祝日、センター指定休日を除く)

ヤマハ サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>



ヤマハ楽器音響製品お客様サポート
LINE公式アカウント



ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<https://www.yamahaproaudio.com/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

※ 名称、住所、電話番号、営業時間、URLなどは変更になる場合があります。

ASCSCPEABS01

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<https://www.yamahaproaudio.com/>
ヤマハダウンロード
<https://download.yamaha.com/>

© 2020 Yamaha Corporation
2025年9月 発行
IPTO-C0



VJR6340